

医療福祉相談 ガイドブック

2025
年度版

2025年4月発行

ソーシャルワーカー・ケアマネジャー必携

NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会 編集

社会資源を知らないでいることの不幸を防ぐ！

社会保障制度の有効活用などにより生活問題の解決をはかるためのガイドブックです。

医療・介護・地域で活躍するソーシャルワーカーの実践知がここに結集しています。あらゆる領域のソーシャルワーカー、ケアマネジャー、地域の支援員やコーディネーターなど、相談援助に携わるすべての人たちに本書をお届けしたいと思います。

社会資源のレファレンスに留まらず、SOSをキャッチした人が命や生活を守る手立てを活用出来るよう、使い方に重点を置き構成しています。

記述は医療福祉の各種専門職を学ぶ学生をターゲットとしてわかりやすさをモットーにしました。



作画：久留井真理

●定価 2,750円(本体2,500円＋税)

A4判／並製／240頁

◆内容構成

第1章 くらしと社会保障

①くらしを取り巻く社会環境の変化／②権利としての社会保障／③地域共生社会の実現とソーシャルワーク

第2章 社会資源活用の原則と課題

①相談支援の目的と社会資源／②社会保障制度活用上の原則／③社会資源活用上の技量／④身寄りがない状態・家族不在の状態での支援／⑤社会保障の課題とソーシャルワーク

第3章 人生に寄り添う社会資源活用の実際 〈物語〉

①障害があっても、家族を支える／②キーパーソンはスナックのママ。人は一人では死ねないのか！／③がんとの共生に取り組む／④難病の七恵さんが希望した在宅での生活に対する支援／⑤統合失調症を発症した凜子さん・共に闘う家族の支援／⑥「のまない一日」を積み重ねる愛子さん／⑦外国人女性の出産と胎児の命を守る支援／⑧「歯が痛い」に潜む社会的孤立・社会的排除／⑨ホームレス状態の和正さんの権利擁護とソーシャルアクション／⑩認知症になってもその人らしい生き方を

第4章 社会保障制度活用の実際

医療福祉に関わる主な相談窓口

医療提供のしくみ——適切な医療を受けるために

医療に関する諸制度

生活と生活費

しごと／刑余者の支援

高齢者サービスのガイド

高齢者サービスの実際／税制上の軽減制度

障害者・障害児サービスのガイド

障害者・障害児の利用できるサービス／難病患者への支援／障害者の就労／

手当／自助グループ

こども・家庭のために

権利擁護

大規模自然災害等被災時の生活再建制度

◆編者代表

村上須賀子 (NPO 法人 日本医療ソーシャルワーク研究会)

高石麗理湖 (国際医療福祉大学)

徳富和恵 (安芸太田病院居宅介護支援事業所)

ご注文方法

◎書店購入の場合

このチラシを最寄りの書店へ持参の上、ご注文下さい。

◎直接販売：クレジットカード決済

右のQRコードからクレジットカード決済をいただいた方には、送料無料で直送いたします。

◎直接販売：代金引換または請求書払い

基本的に代金引換にて発送いたしますが、公費支払いをご希望の方は請求書払いも可能です。

その際、書籍代に加えて手数料一律500円

ご負担いただいておりますのでご了承ください。



明石書店

〒101-0021

東京都千代田区外神田6-9-5

TEL.03-5818-1171

FAX.03-5818-1174

URL=https://www.akashi.co.jp/

E-mail=eigyo@akashi.co.jp

■図書目録送呈

医療福祉相談ガイドブック【2025年度版】

ソーシャルワーカー・ケアマネジャー必携

NPO法人 日本医療ソーシャルワーク研究会[編]

●定価 2,750円(本体2,500円＋税)

フリガナ

TEL

お名前

ご住所 〒

番線印

冊

第1章 くらしと社会保障

私たちの暮らしには、なぜ社会保障が必要なのか。社会保障の意義と概要について確認し、その権利性と枠組みについて、暮らしを取り巻く社会環境の変化と併せた理解をはかります。

第2章 社会資源活用の原則と課題

社会保障制度をはじめとした、相談支援のツールとしての社会資源の大枠とその原則を押さえます。支援の構造をソーシャルワークの視点から概観し、そのポイントを指し示します。

第3章 人生に寄り添う社会資源活用の実践 〈物語〉

支援の具体的実践例を「物語」として示し、社会資源の活用をはかります。病態や障害の変化により生活課題も変化するため、その都度の状況に合わせた資源の活用について解説します。

▼第3章より

▲ 第2章より

人物

「音楽家である」と「音楽家になる」

①音楽家(大衆的音楽) 音楽家(古典音楽)

音楽家

音楽家とは素人2人ものことも「音楽」活動をする。素人・中学生の素人とも異なるし、文藝家ではないが、音楽は日常生活に近い。音楽の素人には素人とも異なる。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

音楽家としての人間

素人、音楽家とは異なる。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

音楽家としての人間性・音楽家としての人間性

素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

音楽家としての人間性

素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

音楽の発展と音楽家としての人間性。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

音楽の発展と音楽家としての人間性。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

ポイント

①音楽家としての人間性。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

②音楽家としての人間性。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

③音楽家としての人間性。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

④音楽家としての人間性。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

⑤音楽家としての人間性。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。音楽は現代社会の重要な文化。素人にも音楽文化の活動を行っている。

図表3-1 音楽家としての人間性

図表3-1 音楽家としての人間性

第4章 社会保障制度活用の実際

生活問題の解決に向けて、さまざまな分野で用いることの多い社会保障制度を取り上げ、知っておくべきルールをまとめます。分野ごとに制度の内容、利用できる人、利用者負担などを示します。

[illegible]

▲第4章より